

青少年を取り巻く有害環境対策の推進

(前年度予算額 49,510千円)
30年度予定額 42,287千円

1. 有害環境から子供を守るための推進体制の構築

●ネットモラルキャラバン隊

PTAや教育委員会等と連携し、保護者等を対象としたシンポジウム等を開催

- (1) 積算：7,630千円 × 1団体
- (2) 委託対象先：民間
※H28年度委託先：(株)メディア開発綜研
- (3) 28年度実績
 - ・全国7箇所で開催 約2,000名が参加
 - ・延べ14,000世帯(H23～H28)の保護者に対し、家庭でのルール作りの大切さとフィルタリング利用の重要性等について講義

●青少年安心ネット・ワークショップ

インターネットの有効な活用方法などについて、青少年自ら研修し、学んだ成果を発信するワークショップの実施

- (1) 積算：1,511千円 × 3地域
- (2) 委託対象先：民間、地方公共団体
※H28年度委託先：(公社)岐阜県青少年育成県民会議
- (3) 28年度実績
 - ・中高校生向けのワークショップにおいて啓発教材(すごろく、テレビCM)を作成しフォーラム(約120名が参加)で発表

●ネット対策地域支援

急速に普及していくネット環境に対応するため、地域における先進的な取組を実施

- (1) 積算：3,251千円 × 2地域
- (2) 委託対象先：民間、地方公共団体
※H28年度委託先：青少年を有害環境から見守る奈良コンソーシアム、ちば地域コンソーシアム実行委員会等 計4団体
- (3) 28年度実績(例)
 - ・ネットトラブルへの対応、フィルタリングの活用等に関する啓発講座を教員、PTA役員、児童生徒等を対象に実施(計55講座:約8250名受講)
 - ・開催県内においてネット安全教室を46箇所実施

2. 青少年教育施設を活用したネット依存対策推進事業

青少年教育施設を活用し、ネット依存傾向の青少年を対象とした自然体験や宿泊体験プログラムの実施を通じたネット依存対策を推進

- (1) 積算：3,121千円 × 3団体
- (2) 委託対象先：民間、地方公共団体
※H28年度委託先：(独)国立青少年教育振興機構 他2件
- (3) 28年度実績(例)
 - ・ネット依存傾向の青少年メインキャンプを国立赤城青少年交流の家で行い、国立久里浜医療センターと連携し、プログラム内に「認知行動療法」などを用いた8泊9日のキャンプ。16名が参加し、キャンプ後、ネットの使用時間が短くなるなど、一定の改善が見られた。



3. 依存症予防教育推進事業

●依存症予防教室

依存症予防教育に関するシンポジウムを実施するとともに、「依存症予防教室」の開催等を行う。

- (1) 積算：1,202千円 × 8地域
- (2) 委託対象先：地方公共団体
※H28年度委託先：千葉県教育委員会
- (3) 28年度実績
 - ・国において依存症の現状や予防教育の取組事例を紹介する「依存症予防教育シンポジウム」を開催
 - ・中高校の教職員、保護者を対象としたネット依存、ギャンブル依存の実態や知識を身に着けるための講座を県内2か所で実施(201名受講)

